

外来診療の案内

令和7年9月現在

院長(兼)総合診療科部長(兼)医療安全管理室長 田中 修也

副院長(兼)小児科部長(兼)地域医療連携室長 水流 尚志 事務長 宇都 利香 看護部長 梶原 貴美

【診療科部長】呼吸器内科部長 中塩屋 二郎 循環器内科部長 吉野 聡史 脳神経内科部長 有村 仁志

診療科	月	火	水	木	金
内科	小牟禮 大地	小園 智樹	馬渡 浩史	馬渡 浩史	小園 智樹
	リウマチ・膠原病外来(終日)			駿河 幸男	
	腫瘍病外来(午前)		福重 恵利子		
	肝臓外来(終日)		長谷川 将 (第2、4週)		
	生活習慣病 予防健診・ドック			馬渡 浩史 小牟禮 大地	
呼吸器内科(午前)	田中 修也, 中塩屋 二郎, 小園 智樹				
呼吸器外科(午前)		野中 裕斗			
循環器内科	馬渡 浩史	吉野 聡史		吉野 聡史	小牟禮 大地
脳神経内科	午前	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志
	午後		もの忘れ認知症外来	脳ドック	
脳神経外科					鹿大応援医師 (第2、4週)
小児科	午前	水流 尚志 坂元 沙樹	水流 尚志 坂元 沙樹	水流 尚志 坂元 沙樹	水流 尚志 坂元 沙樹
	午後	初診・再診受付 14時～16時		健診・予防接種 13時30分～15時 初診・再診受付 15時～16時	初診・再診受付14時～16時 心エコー検査 応援医師(第4週)
放射線科(読影のみ)		応援医師			応援医師
腹部エコー	午前		検査部	検査部	
心エコー		検査部	馬渡 浩史	吉野 聡史	検査部 (第4週・午後小児科)
頸部エコー			放射線部 (ドック専用)		有村 仁志 第3週は不可
シンチ	終日	脳血流シンチ	骨シンチ	心筋シンチ	腫瘍シンチ/骨シンチ 脳血流シンチ
内視鏡	午前/上部消化管				山内 拓真
	午後/下部消化管		重田浩一朗 舘黒 薫		山内 拓真
気管支鏡	午後			呼吸器内科医師	
CT・MRI	終日	終日	終日	終日	終日

鹿児島県立北薩病院

〒895-2526 鹿児島県伊佐市大口宮人502-4
TEL: 0995-22-8511
FAX: 0995-22-6785
0995-22-9397(地域医療連携室)
Mail: hok-hos@pref.kagoshima.lg.jp

※受診について、小児科以外は原則予約制となっています(内科は完全予約制)。
待ち時間短縮のため、電話での予約をお願いします。
○電話予約: 午後2～5時まで

さざんか

～県立北薩病院だより～

R7.10月号

No.224

秋はマダニにご注意を

ようやく涼しくなってきたこの季節、農作業や除草、山林でのレジャーなど屋外で活動する機会が増えます。気づかないうちにマダニに咬まれると、時に命にかかわる感染症につながることもあります。マダニから身を守る、正しい知識を振り返っておきましょう。



写真: 国立健康危機管理研究機構

1. マダニが生息する場所

マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。また、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。

2. マダニから身を守る服装

マダニが生息する場所では、半ズボンやサンダル履きは適当ではありません。腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう! 首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。明るい色の服はマダニが確認しやすいです。



さい。マダニに刺されたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関を受診しましょう。野外活動後は、上着や作業着を、家の中に持ち込まないようにしましょう。また、シャワーや入浴でダニが付いていないかチェックしましょう。マダニが付着しているときは、「できもの」のように見えることがあります。ガムテープや粘着カーペットクリーナーを使って服に付いたダニを取り除く方法も効果的です。

4. 忌避剤を使う

農作業やハイキングに行く時は、忌避剤(虫除け剤)を活用しましょう。ディートやイカリジンといった成分の製品を購入することができます。有効成分の濃度が高いほど効き目が長続きしますが、ディート30%の製品は12歳未満には使えません。また、忌避剤でマダニの付着を100%防げるわけではありませんから、忌避剤を過信せず、他の防護方法と組み合わせて対策しましょう。

5. マダニが媒介する感染症

マダニが媒介する感染症としては、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)やダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、ライム病などがあります。

(山之内 聡子: 感染管理認定看護師)

3. マダニに咬まれたら

ダニ類の多くは、長時間吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、医療機関で適切な処置(マダニの除去や消毒など)を受けて下

参考: 「マダニ対策今できること」

国立健康危機管理研究機構 JIHS

感染症情報提供サイト



北薩病院の門前に ほくさつ薬局 が開業しました

北薩病院の門前にあった伊佐市薬剤師会営業局が今年4月末に処方箋受付を終了しました。市街地や住宅街からかなり離れた立地で薬局を長年運営してくださった伊佐市薬剤師会の先生方には深く感謝しています。

薬局が閉鎖し、患者の皆さまが薬を受け取るのに不自由されている様子を目にして、私たちも大変心苦しく思っていました。そんな中、9月1日かつての会営業局の敷地に新たに「ほくさつ薬局」がオープンしました。この難しい展開で門前薬局を再開してくださった薬剤師の江頭明大（えとう あきひろ）先生にご挨拶してきました。

——この度は開局おめでとうございます。北薩病院で処方を受けた患者さん達がすぐ隣でお薬を調剤してもらえることになりまして、便利になりました。ありがとうございます。

江頭先生：（以下敬称略）：そうおっしゃっていただけると私たちにとっても励みになります。患者さんに喜んでもらえる、という所がいいですね。私たちほくさつ薬局のモットーは「患者さんファースト」そして「地域密着」なんです。

——確かに「患者さんファースト」ですね。もう一つの「地域密着」とはどういったことなのでしょう？

江頭：「ほくさつ薬局」は名前のとおり北薩病院の門前薬局なんです。が、このご時勢で処方箋の対応だけやっていたのでは運営は難しいかもしれませんね。10年前、厚生労働省は門前薬局が「地域の健康カウンセラー」や「かかりつけ薬局」といった役割を果たすという未来像を示しました。具体的には、処方箋に対応する調剤業務だけでなく、患者さんそれぞれに合った薬の量や飲み合わせのチェック、服薬指導、健康相談や介護相談を受けること、在宅支援などです。このような青写真を実現していくには克服すべき問題がいくつもあるんですが、そういう役割を担って地域に密着していくことで、社会貢献と経営を両立させていきたいと思っています。

——なるほど。ところで江頭先生は伊佐市のご出身…という訳ではないんですよね？

江頭：ええ、私は福岡県久米市の出身でして、伊佐に地縁はないんです。26歳の時に同期の薬剤師4人で佐賀市に調剤薬局の1号店を開業しました。それから現在まで調剤薬局一筋です。仕事で鹿児島県内もあちこち回りましたが、自分が伊佐市に開業することになるとは予想していませんでした。伊佐市薬剤師会の先生方始め、開業までにいろいろな方との出会いがあったのですが、まあそれは端折（はしよ）っとくとして（笑）、この地でいろいろなことをやれるんじゃないかと楽しみにしています。

——薬剤師会の先生方や江頭先生、もちろん北薩病院やその他の医療機関も協力して伊佐市の医療インフラを支え続けたいですね。これからもよろしくお願いします。

江頭：こちらこそよろしくお願いします。



ほくさつ薬局
〒895-2526
伊佐市大口宮人 502-146
TEL：0995-23-0600
月～金 午前9時～午後6時
土 午前9時～午後1時



（水流 尚志：地域医療連携室）

注射じゃない！ 鼻スプレーで インフルエンザ予防

今年度、北薩病院は経鼻噴霧型のインフルエンザ・ワクチン「フルミスト」を準備します。ウイルスの侵入路である鼻粘膜に直接免疫を誘導し、感染予防と重症化予防を期待できます。

※注射なら2回の接種が必要な13歳未満の方も1回の鼻腔噴霧で接種が終了します。

※接種後、軽いかぜ症状（鼻水・せき等）を約50%の方で認めるとの報告があります。

■対象：2歳～18歳（19歳未満なら可）

■回数：年齢に関わらず1回



（白窪 碧：薬局／小水流 舞：外来）

●ハーフ・リレーマラソン@忠元公園

去る9/7（日）、第11回伊佐ハーフ・リレーマラソンに「北薩病院ランニングクラブ（HRC）」が参加しました。昨年に続き2回目の参加です。

日ごろから鍛えぬいたメンバーが勢ぞろい…というわけにはいきませんが、「楽しむことがいちばん！」

コースは1周700m。楽勝！楽勝！と走り出しますが、半周にも届かないのに「えっ！まだ200m？」1周が2kmにも5kmにも感じる。楽しみながらと言いつつも少しでも早くタスキを渡したい！と必死の形相で走りきりました。

かたや当チームのエース3階病棟看護師西本拓真さんは涼しい顔で軽やかに5周走破。さすがエース！！その見事な走り姿に感化され「あんな風に走れたら楽しいだろうな〜。来年はもっと楽しく早く走れるように1年かけて練習するぞー」と心に誓いますが、たしか去年も同じことだったような…？

何はともあれ、みんなで力を合わせて1時間38分03秒で完走。気持ち良い汗をいっぱいかいて、チームの絆も深まりました。（蒲牟田 ゆり：地域医療連携室）



●敬老の日に

令和7年9月12日（金）にご高齢の入院患者さんを対象に「敬老の日」のお祝いとして、田中修也院長が記念品の贈呈を行いました。早く元気になりますように！



●編集後記

本誌「さざんか」のレイアウトや記事が今までと少し変わったことにお気づきでしょうか。実は「さざんか」が誰に読まれているのか追跡してみたところ、8割近くは住民の皆さまが手に取ってくださっていたという事実を発見しました。せっかく気に留めてくださった皆さまに少しでも興味を持ってもらえるよう、今回は「屋外作業中のダニ対策」「門前薬局がオープンしました」「注射じゃないインフルエンザ・ワクチン」など身近な話題を選びました。記事のどれか一つでも「ヒット」したでしょうか？ 次回12月号もどうぞご期待ください。

（新屋 涼子：総務課）